

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会① 議事録	
日 時	令和3年7月17日(土) 9時00分～16時40分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、小沢委員、坂田委員、白石委員、中山委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者0人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者等の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 本日面接審査を行った施設の第4期指定管理者の指定候補者を次のとおり決定する。 (1) 横浜市日吉地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (2) 横浜市菊名地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (3) 横浜市新田地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (4) 横浜市綱島地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	<p>【横浜市日吉地区センター】</p> <p>1 応募団体の面接審査 第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(2団体)について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。 ～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p>(1) 一般財団法人こうほく区民施設協会 (委員) 地域とのつながりで各団体と連携を図っているが、地区センターから団体に働きかけているのか。それとも団体からの提案によるものなのか。 (応募団体) 例えば、「こどもまつり」は長年、青少年指導員やスポーツ推進委員と連携して実施している。「日吉グリーンアップ」は今年度から商店街と町内会中心となって始めたもので、地区センターも参画している。地区センターからの働きかけで地域に御協力いただいているものが多い。 (委員) 帰宅困難者一時滞在施設となっているが、備蓄品の備蓄状況は。 (応募団体) 区役所からは水缶やアルミブランケット、ランタン等を預かっている。施設独自の備蓄として、トイレトペーパーを常時300個、アルコール消毒液等の消毒物品を1か月分備えている。 (委員) 部屋の利用申込は公平に行われているか。 (応募団体) 利用申込は先着順ではなく、事前申込みの上抽選を行っている。自主</p>

事業は、講師の方とも調整し、稼働率が低い日時に実施するよう努力している。自主事業から事後サークル化する際も、希望日時が競合しないよう調整している。

(委員) 意見要望を取り入れ、とあるが、利用者に特化しているのか。それとも地域へのアンケートを行っているのか。

(応募団体) アンケートは、施設利用者を対象に行っている。地域の皆様からの御意見は地区センター運営委員会の時などにお伺いしている。

(委員) これまで行ってきた自主事業の中でやってよかったことや困ったこと、大変だったことを教えてほしい。

(応募団体) よかったことは、コロナ禍で外出控えや施設利用制限が続き、そのような中でも実施できる内容を企画したところ、応募が通常の3～4倍あり、実施回数を増やすなどして対応し、事後サークル化できたこと。大変だったことはコロナ化でやりたい事業がなかなかできなかったことである。

(委員) コロナ終息後の利用者目標数を10万人としているが、今般、人々の行動パターンも変化しつつある中、何をもちてこの数値を設定したのか。

(応募団体) 本館エレベーター工事で部屋が1部屋減り、和室も狭くなったが、自主事業を積極的に行い、その後のサークル化を促進することで利用者増につなげたい。インターネット予約を開始したところ、部屋の利用率が増えている。SNS等で施設情報を積極的に発信することで更なる利用増につなげることができると考えている。

(2) 株式会社アクト・テクニカルサポート

(委員) 大学生の利用促進とあるが、具体的な内容を教えてほしい。

(応募団体) 例えば、夜間の空室無料開放を検討しているほか、オンライン講座や動画作成講座の実施を検討している。ゆくゆくは、日吉地区センター公式YouTubeを開設するなど、大学生と協働した利用を考えている。

(委員) 日吉地区のニーズ把握とあるが、具体的に調査を行ったのか。子育て世代や高齢者など、他世代とのバランスはどのように考えているのか。

(応募団体) ニーズ把握は過去の事業報告書や区民アンケートを参考にした。もちろん、学生だけではなく他世代のニーズも把握の上対応していく。例えば、子育て世代を対象にした支援事業も実施を継続する。

(委員) 貸出時間の延長対応や、「ちょこっと利用」など便利だと思うが、今の地区センターを見て、ここを改善したいということがあれば伺いたい。

(応募団体) コロナ禍ということもあるが、施設はとても静かな印象がある。入りやすい雰囲気づくりや明るさを作り出し、来館者の第一印象をよくしていきたい。

(委員) 具体的な方策は。

(応募団体) 来館いただく方策として、地域の方に地区センターの存在を知っていただくために、広報誌のポスティングや大学・学生へのアピールを行う。草の根運動で広報活動を行うことで施設活用を進め、利用者促進につなげていきたい。

(委員) 地域アンケートによって、とあるが、現地で情報収集やアンケートを実施したのか。

(応募団体) 公表されているデータを参考にした。

(委員) 日吉地区の特徴をどのように捉えているか、もう少し詳しく教えてほしい。

(応募団体)「花と緑のまちづくり」「コミュニティ通貨」など、事業者と地域が一緒になって盛り上げており、明るく可能性にあふれた印象をもっている。また、都心へのアクセスも良く、街もきれいで住みやすい印象もあり、世代を問わず地域への愛着が強い街という印象がある。

(委員) SNS活用とあるが、世代によって活用に差があるかと思うが、そのあたりの話をもう少し詳しく聞かせてほしい。

(応募団体) 例えば、広報活動であれば、SNSと紙媒体双方を活用しての発信を考えている。また、地域交流の希薄化や地域活動への参加が減少している印象をもっている。今回、動画ツール活用を提案した背景には、現在、施設に来館するものはばかられる中で、動画を通じて参加してもらうことで、地域への接点を持ち続けたいと考えている

(委員) 地区センターに行く以外の利用方法も考えているということか。

(応募団体) 1番は施設に来館いただきたいが、来られない方も地区センターの活動に触れていられるようなものを作りたい。オンライン活用講座も開設し、団体の発信力も高めていかれるようにしたい。

(委員) 日吉地区センターは決して新しくない施設だが、課題や運営にあたっての考え方があれば伺いたい。

(応募団体) 施設の管理面で言えば、限られた予算の中で、施設管理業者とも連携して未然防止策を講じ、計画的な修繕を実施し、施設を維持していきたい。

2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から各応募団体の財政状況がいずれも健全であることが確認された。

(2) 事務局から、すべての応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、現指定管理者応募の有無、応募団体が「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。

(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。

なお、すべての応募団体が最低基準点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	659点
次点候補者	株式会社アクト・テクニカルサポート	567点

【横浜市菊名地区センター】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開としたうえで、応募団体（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(1) 一般財団法人こうほく区民施設協会

(委員) インターネット予約システムを導入したことで、利用向上につながっているのか。

(応募団体) 予約の約8割がインターネットでの予約となっている。利便性向上とともに、部屋の利用希望が分散され、空き室が減った。

(委員) 利用しやすい時間帯等、菊名地区センターの予約の傾向は。

(応募団体) 午前中は利用が多い。午後3時から6時の枠は、他地区センターは利用が少ないが、菊名地区センターは多い。夜間はインターネット予約システム導入後、予約が埋まるようになった。

(委員) 予約の公平性はいかがか。

(応募団体) 先着順ではなく、事前に申込を受け付けてから、抽選をしている。申込方法の違いで抽選に差は出ない。

(委員) 午後3時からの利用が高いとのことだが、何か工夫したのか。

(応募団体) 数年前は利用が低かったが、ダンス団体の要望を受け入れ、中会議室を貸し出すようにした。学校から帰ってきてから活動に参加しやすいこともあるようだ。また、大学のクラブ活動での利用が増えている。

(委員) テニスコートがあるが、スタッフの配置はどのようになっているのか。

(応募団体) テニスコートにはスタッフは常駐しておらず、地区センターの受付カウンターで受付を行っている。鍵の開け閉めはスタッフが行っている。

(委員) 卓球の利用はいかがか。

(応募団体) レクリエーションホールで卓球利用ができる。利用できる時間帯を設けており、受付カウンターで利用受付してから御利用いただいている。とても人気がある。

(委員) 地域交流コーディネーターの配置について伺いたい。

(応募団体) 法人本部に人員配置を検討している。地域ケアプラザには地域課題の解決にあたる地域交流コーディネーターがいるが、福祉保健分野以外の地域活動における、各地域の実情の把握や相談に対応できる人材を配置したい。

(委員) 自主事業計画を見ると、様々な分野の企画があるが、企画立案は地区センターで考えているのか。それとも、持込み企画が多いのか。

(応募団体) 事業によって様々だが、地区センターでの企画立案が多い。地域イベントとのタイアップや各委嘱委員とのコラボ事業も計画している。

(委員) 災害時対応について、準備状況を伺いたい。

(応募団体) 備蓄品やトランシーバーといった備品を既に備えている。また、帰宅困難者一時滞在施設や風水害時の避難場所の開設は区役所職員が行うこともあり、鍵の開錠方法や施設の使い方の確認といったことも、区と連携を図っている。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。
- (4) 採点結果
委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。
なお、最低基準点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	669点

【横浜市新田地区センター】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開としたうえで、応募団体（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(1) 一般財団法人こうほく区民施設協会

(委員) 無料Wi-Fiの充実について、現状はまだ充足していない状況かと思われるが、具体的な取組内容を教えてほしい。

(応募団体) 現在は、1階ロビーと2階図書コーナーで個人利用の方が利用できる。令和3年度中に全てのお部屋で使えるよう、計画している。

(委員) 予約方法が更に便利になるとのことだが、現状の予約方法がもっと便利になるということか。

(応募団体) 予約方法に特段変更予定はないが、より多くの方に利用していただけるようにしていきたい。インターネット予約に関して、港北区の方は前向きで、苦情も寄せられていない。インターネット予約をきっかけにスマートフォンやパソコンを使い始めたという声もあるので、スマホ体験教室などを開催することで、予約に対する敷居を低くしたい。

(委員) SNSの活用について、SNSにも様々な種類があり、関わる世代もそれぞれ異なるかと思うが、どのように取り組むのか。

(応募団体) まず、ツイッター導入を検討している。理由としては、幅広い年齢層に浸透しており、比較的容易に管理できるからである。次に、ラインの公式アカウントを開設し、問合せ対応ができないかどうか研究中である。

(委員) 利用促進策が詳細に記載されており、その中でも「新規の御利用者となる

サークル設立」について踏み込んで提案されているが、きっかけや考え方を教えてほしい。

(応募団体) 新田地区センターは立地上、電車の路線が1路線しかなく、若い方の利用が少ないことから、SNSの活用や使いやすい施設づくりを行うことで新しい利用者を取り込んでいきたい。また、近隣の綱島地区センターが工事や新型コロナウイルスワクチン集団接種会場で利用できない期間があり、新田地区センターに利用者が流れてきている。使い勝手も好評なので、このような利用者の方も新田地区センターの固定客になっていただけるよう様々工夫し、取り組んでいきたいと考えている。区内他地区センターに比べて稼働率が低いこともあり、この点も意識しながら取り組んでいく。

(委員) 高齢者が多い地域でもあるが、高齢者に対する取組は考えているのか。地域ケアプラザもあるが、地区センターとしての取組を教えてください。

(応募団体) 地域ケアプラザとは日常的に連携しており、ケアプラザ事業で地区センターのお部屋を利用していただくこともある。利用者には日ごろから積極的にお声がけをするなどコミュニケーションを図っている。御意見や御要望に対しても納得するまで丁寧に説明するよう心掛けています。また、高齢者の利用が多いことから、「ニーズ対応費」で要望のあった和室用の座椅子を購入する等、利用に御不便がないよう対応している。

(委員) 「今後に向けた工夫」で提案されている内容は、利用者の要望を踏まえてのものか。

(応募団体) そのとおり。

(委員) 図書コーナーの一角に「キッズコーナー新設」とあるが、本を読むスペースはどのようなになるのか。

(応募団体) 元来、図書コーナーに受付があったが、受付機能を1階受付に集約した。その空きスペースを活用して設置する。ここでは、お子さんと保護者が静かに本を読んで過ごせる場を想定している。奥には学習スペースもあるので、必要に応じてスタッフが声かけしながら、御利用いただけるようにしたい。

(委員) 自主事業のうち地区センター以外で実施するものもあるが、例えば「マリノス応援企画」はどのように実施するのか。

(応募団体) 日産スタジアムに参加者が直接集合し、一緒にサッカー観戦を行い応援する企画。地区センタースタッフも現地に対応し、場合によりスタッフを増員する。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。
なお、最低基準点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	661点

【横浜市綱島地区センター】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開としたうえで、応募団体（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(1) 一般財団法人こうほく区民施設協会

(委員) 自主事業収入第4期目標は、コロナ禍を踏まえた金額設定か。

(応募団体) 自主事業の回数や1回あたりの参加人数を減と見込み、設定した。

(委員) 相鉄・東急直通線の開通や、新綱島駅の開業など、交通の流れも変わるかと思う。この点も踏まえ、長期的に見た綱島のイメージをどのように捉えているか。

(応募団体) ハード的な面で見ると、新綱島駅ができ、新しくマンションも建設されるので、それに伴い人の流入があり人口が増えると認識している。取組としては、区民文化センターも開設されるので、そこでの公演を目指している「こうほく第九演奏会」を引き続き応援していく。また、区民意識調査で人とのつながりが希薄な傾向があることから、「地域緑のまちづくり事業」始めとした取組を通して、世代を問わず、多くの方に係わっていただく事業や取組を行っていきたい。将来的には、新しいまちが、従来持っていたまちのつながりを継承できるようにしていくことができればよいと考えている。

(委員) 予約システムを導入したことに伴う、発見や気づきがあれば伺いたい。

(応募団体) 隣駅が日吉駅で、日吉地区センターの利用団体が綱島地区センターも利用する場合もあるが、その頻度が高くなったかと思う。

(委員) 緊急時の体制と対応計画の中で、周辺幼稚園・保育園児の受け入れや引き取り訓練の記載があるが、実際に取り組んでいるのか。

(応募団体) 希望する幼稚園1園・保育園3園と連携協定を結び、担当者間との連絡体制づくりや情報交換を行っている。うち1園は、年に1回引き取り訓練を実施している。

(委員) 実際に、保護者が綱島地区センターに引き取りに来るということか。

(応募団体) そのとおり。

(委員) 自主事業別計画書が8つの柱で色分けして分類されており、とても分かりやすい。これは綱島地区センター独自の分類なのか。

(応募団体) 当法人での共通した分類となっている。事業の数や、重点的に取り組む分野は、各施設で異なってくる。

(委員) 綱島地区の特徴として人口増加している一方、人間関係の希薄化が見られるという中で、今後、地域の担い手づくりが重要になってくる。地区センターの取組として、地域デビューしやすい取組を用意するのか、それとも誰かに個別にお願いする形になるのか。

(応募団体) どちらもあり得るが、従来から活動している方や利用者だけではなく、新しく講座やイベントを企画し、それに来ていただくことでつながり作りを行いたい。いずれは、地区センター受付に、地域活動相談所のようなものを設け、地区センターでの活動や講座参加に躊躇されている方に、何か相談でも構わないので来ていただけるようにしていきたい。

2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。

(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。

なお、最低基準点を満たした。

団体名	採点結果
一般財団法人こうほく区民施設協会	673点

そ の 他
特 記 事 項

第2回横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会②

開催日時：令和3年7月22日（木・祝）午前9時から

場 所：横浜市港北区役所4階1号会議室

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会② 議事録	
日 時	令和3年7月22日(木・祝) 9時00分～16時00分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、小沢委員、坂田委員、白石委員、中山委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者0人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者等の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 本日面接審査を行った施設の第4期指定管理者の指定候補者を次のとおり決定する。 (1) 横浜市篠原地区センター 一般財団法人こうほく区民施設協会 (2) 横浜市菊名コミュニティハウス 一般財団法人こうほく区民施設協会 (3) 横浜市小机スポーツ会館 シンコースポーツ株式会社 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	<p>【横浜市篠原地区センター】</p> <p>1 応募団体の面接審査</p> <p>第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(3団体)について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。</p> <p>～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p>(1) アクティオ株式会社</p> <p>(委員) 職員研修計画にある「また来たいね研修」の具体的な取組は。</p> <p>(応募団体) 例えば、施設にて年1回接遇研修を行い、利用者との実際の応対を想定した実地研修を行っている。</p> <p>(委員) 施設の稼働状況はいかがか。</p> <p>(応募団体) コロナ禍以前は50～52%くらいだったが、現在は40%くらい。ガイドライン上、カラオケや発声を伴う利用に制限があり、カラオケ利用だけで2～3%の減となっている。まずは、コロナ禍以前の水準に戻したい。</p> <p>(委員) 自主事業は、コロナを意識した事業や、新しい事業を計画されているが、オンラインやZOOMを活用した具体的な取組を教えてください。</p> <p>(応募団体) まだ検討段階であるが、手始めに、活動団体の紹介動画の作成を考えている。その後、動画配信やオンラインで参加できる体操教室などできないか検討している。</p> <p>(委員) ひっとプラン「わがまち篠原」連絡会に参加しているとあるが、どのように参画しているのか。</p>

(応募団体) ひっとプランの連絡会と報告会に参加し、地域団体の方とのディスカッションを通じて情報交換を行っている。情報交換で得られた内容を施設運営に活かしていきたい。

(委員) アンケートや情報収集を行い利用者の意見を伺っているとのことだが、実際の改善内容を教えてほしい。

(応募団体) 利用者や利用団体を対象に年1回アンケートや利用者懇親会を行って御意見を伺っている。他にも、御意見箱設置や自主事業アンケートを実施している。寄せられた意見は公開し、改善状況もお知らせしている。改善事例としては、要望のあった備品の導入や、施設の環境改善がある。

(委員) コワーキングスペースの提案があるが、きっかけを教えてください。

(応募団体) 現在はまだ設置していないが、今後、会社からの帰宅時や時差出勤時に小一時間仕事をしたいというニーズがあるのではないかと考えている。地区センターには図書コーナーに勉強できるスペースはあるが、パソコンを持ち込める環境ではないし、Wi-Fiも完備されていない。企業活動にあたらぬかといった点もあるが、このようなスペースを作ることによって、少しでも施設を利用していただければと検討している段階である。

(委員) 先を見据えた提案ということか。

(応募団体) そのとおりである。

(委員) 地形的に、山を一つ越えないと来館できない方もいると思うが、それに対する考えは。

(応募団体) 移動手段が限られているのが現状だが、地域ケアプラザとの合築施設ということもあるので、ケアプラザ利用者が地区センターにも立ち寄っていただけるよう取り組みたい。

(委員) 利用料金収入の推移が令和8年度まで記載されているが、令和4・5年はコロナの影響がある前提、令和6年度からコロナ禍以前の水準となっている。それ以降は金額が増えているが、これは物価の上昇を見込んでいるのか。それとも、事業数の増によるものなのか。

(応募団体) 部屋の利用増を見込んでいる。

(委員) 災害時の対応はどのようになっているのか。

(応募団体) 帰宅困難者一時滞在施設となっていて区と協定を結び、一昨年台風時には避難場所として開設した。他にも、スタッフ向けの防災研修や防災・減災に関する自主事業を実施するなど取り組んでいる。

(2) 株式会社アクト・テクニカルサポート

(委員) 篠原地区の特徴をどのように捉えているのか、詳しく教えてください。

(応募団体) 地域愛を持っている方が多い地区だと認識している。あわせて、様々な活動にも積極的に参画されていて、活気のある地区だと認識している。

(委員) 自主事業について様々計画されているが、オンラインの活用状況を教えてください。

(応募団体) 講義形式の事業の一部について、オンライン配信を検討している。また、成果発表会やロビーコンサートなど多くの方に楽しんでいただくものもオンライン配信が可能であると考えている。

(委員) 利用料金の価格変更について、2年目以降からの変更を検討するという
ことか。

(応募団体) 1年目は現在の料金を踏襲し、利用者の状況や意見を踏まえながら2
年目以降の価格変更を検討したい。

(委員) 収入計画は、見通しがあるということでよいか。

(応募団体) そのとおり。適正でサービス提供に支障のない価格を設定し、価格変
動を見込んでの計画となっている。

(委員) オンラインやユーチューブでの情報発信などは、利用者のニーズや状況を
踏まえた上で検討されるのか。

(応募団体) 自主事業でオンラインツール活用講座を開催し、直接参加が難しい方
でも継続して地域活動に参加できるような機会を設ける。機材等の導入は、2年目
以降に利用者の動向や意見を踏まえ検討したい。

(委員) 組織体制について、常勤職員は救急救命資格など有資格者を充てているが、
非常勤職員は特に記載がなく、研修計画にも記載はない。勤務時間帯によって有資
格者がいない場合もあるかと思うが、どのように対応するのか。

(応募団体) 常勤職員はローテーションでどの時間帯にも最低1人は配置する。非
常勤職員に対しても、資格取得を啓発していく。

(委員) インターネットによる予約を検討されているが、導入することで、利用者
の利用傾向の把握にもつながるかと思う。他にも利用率を高める工夫があれば伺い
たい。

(応募団体) ホームページやメールマガジン、SNSを活用した情報提供を行い、
リアルタイムで空き室状況や急な運営時間の変更等についてお知らせすることで、
直近の利用状況が分かり、利用率向上につながると考えている。

(3) 一般財団法人こうほく区民施設協会

(委員) 篠原地区の地域特性や地域ニーズが何点か記載されているが、課題解決の
ための取組について伺いたい。

(応募団体) 丘陵地帯で起伏が多い地形であることから地区センターに行きづら
いといった御意見がある。そこで、地区センターには専用駐車場はないが、近隣にあ
る駐車場の御案内を積極的に行うことで、お車でも来館いただける旨強調したい。
次に、仲間づくりの点では、もともと篠原地区は健民祭や子どもむけの行事など熱
心に行われているが、現在、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない状況
となっている。そこで、地区センター主催で安全で安心して参加いただける事業を
実施することで、地域の方々が顔を合わせつながっていかれるようにしていきたい。
特に、過去の利用状況を見ると、中高年男性の利用が少ないように見受けられ
る。男性も参加しやすい「昭和レトロを懐かしむ」や「寄席」は普段地区センター
に来られない方も見に来てくださるので、このような自主事業を企画し、魅力を新
しく作り出すこととで、地区センターから足が遠のいている方や普段来る機会がな
い方に御利用いただけるようにしていきたい。

(委員) 他に、施設がより良くなる取組があれば教えてほしい。

(応募団体) 地下フロアの利用環境を良くするために、オゾンを使った消臭や除
菌機器を導入したい。当法人が管理している施設で取り入れているが、効果がある

ので、利用環境改善のひとつとして取り組みたい。次に、この施設は地域ケアプラザとの合築施設であるので、地域ケアプラザとの連携事業を深めたい。今回提案している「地域コーディネーター」と同様の役割の方が地域ケアプラザにも配置されているので、地域に出向いて課題を共有し、地区センター事業に反映させていきたい。

(委員) 収支計画について、コロナ禍が落ち着いたら平成 30 年度の水準を上回る目標を設定しているが、ネット予約導入など利用促進策を提案している中では目標値が控えめに見える。どのような考えで目標設定したのか。

(応募団体) 過去の部屋の利用率を見ると、音楽室・工芸室・体育館は 8～9 割だが、小会議室や中会議室は約 5 割となっていて、他の地区センターに比べても低い。これは地域ケアプラザにも団体利用登録して利用できる無料の部屋があるので、会議室利用はそれほど伸びないのではないかと考え、控えめの設定とした。また、カラオケやコーラス、詩吟といった発声を伴う利用については、コロナが終息してもすぐには再開できないのではないかと懸念し、このような目標設定とした。

(委員) 子育て世代や若年層の利用促進はいかがか。

(応募団体) 学生であれば学習利用が中心であるため、ロビーや学習環境の充実を図る。また、若い方は環境や多文化共生に関心が高いようなので、多文化交流の体験講座や、環境を考える事業の実施など新たに展開したいと考えている。

(委員) 今後、地域ケアプラザとの協働での取組は何か考えているのか。

(応募団体) 地域ケアプラザは高齢者や障害者、課題のある方への個別ケアが中心だが、その前段階のロコモ・フレイルといった予防や健康維持増進、課題を抱える方の生き辛さの理解などは、広く多くの方にも共有していただける内容かと思う。個別ケアの前段階に対する地域としての支えや理解を深める講座を開き、地域の中で生き辛さを感じることなく、どなたも一緒に地域で暮らせるような取組を展開したい。

(委員) コミュニティバスの活用はいかがか。

(応募団体) コミュニティバスについては、篠原地区や菊名地区でも運行されているが、地区センターの近くに停留場を作っていただけるよう働きかけている。また、例えばデイサービス送迎バスは昼間に稼働が落ち着くので、何かの時に使用させてもらえないかといったことについて、ケアプラザ指定管理者と相談することも視野に入れたい。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去 3 か年の貸借対照表・損益計算書から各応募団体の財政状況がいずれも健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、すべての応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、現指定管理者からの応募の有無、応募団体が「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。

なお、すべての応募団体が最低基準点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	656 点
次点候補者	アクティオ株式会社	649 点
	株式会社アクト・テクニカルサポート	611 点

【横浜市菊名コミュニティハウス】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開としたうえで、応募団体（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(1) 一般財団法人こうほく区民施設協会

(委員) 施設の予約方法を確認したい。

(応募団体) 利用月の2か月前に予約を受け付け、抽選している。

(委員) 自主事業収入見込が平成30年度の4倍となっているが、これは自主事業の数を増やすのか。

(応募団体) 平成30年度は、空調工事による休館期間が1か月あったため、比較すると4倍になる。自主事業を充実させることで達成可能な目標である。

(委員) 利用者サービス向上の取組の中で、荷物をいれる「かご」や乳幼児用入チェアの用意とあるが、消毒作業はどのようにしているのか。

(応募団体) 細心の注意を払い、使用する度に消毒を行っている。他にも、学習室は利用者が利用前に椅子や机を消毒してもらえよう消毒セットを出入口に準備している。

(委員) 自主事業の講師はどのように選んでいるのか。

(応募団体) 例えば、区民活動支援センターに登録している「まちの先生」に依頼している。講師自身による売り込みもあるが、営利目的ではないかを慎重に判断し、利用者ニーズにマッチした場合に依頼することもある。登録団体の講師や地元の方に依頼する場合もある。

(委員) 「地域を楽しむ菊名ファンクラブ」がとても楽しそうだが、詳細について伺いたい。

(応募団体) 団体化するというよりは、菊名地区のファンを増やし、まち全体に広げていきたいという概念、地域コミュニティ形成のお手伝いの場として提案した。いずれ、他施設との横の連携もできることを期待している。

(委員) 近隣には菊名地区センターもあるが、地区センターとの連携は。

(応募団体) コミュニティハウスには体育室や和室、調理室といった部屋はないので、例えば、事業実施時の会場間連携として、座学はコミュニティハウス、実習は

地区センターで実施、逆に、地区センター親子学級の外遊びをコミュニティハウス中庭で実施することも既に計画している。また、2施設と地元町内会で連携し、双方の情報をお互いのホームページで紹介したり、町内会行事を施設で実施したりと、結びつきを図っていききたい。

(委員) 貴法人では既に地区センター予約システムを導入されているが、今回の提案には入っていない。地区センターとの連携もある中、提案があってもよいかと思うが。

(応募団体) 予約システムを導入してほしいといった声はある。コミュニティハウスは、概ね中学校区に1館という狭いエリアに設置されていることもあり、施設の性格上、予約システム導入は、地域のコミュニティ活動とのバランスを見ながら検討したい。自主事業の申込みもネットでできるよう検討している。

(委員) 他区の利用状況はいかがか。

(応募団体) 鶴見区や神奈川区と隣接しており、区外の方も御利用いただけるが、やはり港北区民の方の利用が多い。令和元年度実績で見ると利用者数約4万人のうち、区外利用者は約1万2千人となっている。菊名駅から近いこともあり、区外利用者は他施設に比べて多い。

2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。

(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。

(4) 採点結果

委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。

なお、最低基準点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	670点

【横浜市小机スポーツ会館】

1 応募団体の面接審査

第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(1団体:シンコースポーツ株式会社)について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。

～ 以下、質疑応答の内容 ～

(1) シンコースポーツ株式会社

(委員) 港北スポーツセンターとの連携内容をもう少し詳しく伺いたい。

(応募団体) スポーツセンター所長が館長を兼務することで、お互いのノウハウを共有しながら施設運営にあたることができる。特にイベントやスポーツ教室の開催は連携の一番のメリットと捉えており、港北スポーツセンターでの実績を生かした内容が提供できる。連携を図ることで施設間での利用者交流や相互利用にもつながっていくと考えている。

(委員) 連携内容について、具体的に伺いたい。

(応募団体) 館長を兼務することで、施設の安全管理面などスタッフ間で共有することができ、迅速に対応ができる。事業面では、教室開催にあたり、既に港北スポーツセンターで指導員の人材が確保できているので活用できる。現在、自主事業はキッズ向けのソフトテニスだけだが、テニス以外にもヨガや健康体操などにも対応ができる。この他にも、オンラインレッスンやプロスポーツとの連携交流も既にスポーツセンターのノウハウを取り入れ実施が可能である。

(委員) 館長・副館長の勤務体制を再度確認したい。

(応募団体) 週3回程度は巡回により、館長・副館長のいずれかが施設で業務従事できるよう、配置を計画している。

(委員) 小机スポーツ会館は浸水想定エリアとなっているが、対策はどのように考えているか。

(応募団体) 具体的な検討はこれからだが、他地域で管理している施設において、浸水対策のノウハウがあるので、それを参考に検討したい。

(委員) 港北区民のスポーツに対するニーズをどのように捉えているか改めて伺いたい。

(応募団体) 令和2年度実施の横浜市民スポーツ意識調査を分析したところ、やはりウォーキングの実施率、横浜市への期待値が高い。また、港北区は、トレーニングの実施率・要望が高いのも特徴である。その他にも、イベントや教室の開催、スポーツによる交流の促進への期待が高く、コロナ禍により、活動が制約されている影響ではないかと推察される。そこで、コロナ終息に向け、スポーツによる交流のきっかけづくりの機会を設けていくのが私共の努めであると考え、提案した。

(委員) トレーニングの実施が高いのは、港北スポーツセンターでもその傾向はあるのか。

(応募団体) 同様の傾向にある。トレーニングルームは利用制限を行っている中でも、利用率は高くなっている。また、ウォーキングに関しても、ノルディックウォーキングを実施したが、屋外での開催ということもあり希望者が多く、ニーズが高いことを実感した。

(委員) 卓球やバドミントンでの利用はできるのか。

(応募団体) 今までどおり御利用いただける。現利用者の利用を阻害してまで無理に事業展開はせず、施設の空き状況や、ニーズも把握したうえで実施したい。

(委員) 体育室はエアコンがなく、夏は気温が高くなるが、暑さ対策や体調不良の利用者が出た際の対策はどのように考えているか。

(応募団体) 熱中症対策として、冷風機設置が考えられるほか、エアコンのある会

議室を夏期は休憩場所として常に開放し、使っていただけるようにする。やはり、スタッフが声掛けをしながら注意深く見守っていくのが重要であると考えている。夏期は熱中症の危険が大きいので、館長・副館長の巡回の頻度を上げることも検討している。併せて、スタッフの研修時にAED研修も取り入れているので、万全の態勢を整えたい。

2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。
- (4) 採点結果
委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。
なお、最低基準点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	シンコースポーツ株式会社	612点

そ の 他
特 記 事 項